

令和3年度柴田町議会懇談会

報 告 書

令和4年3月31日

柴 田 町 議 会

議会の活動を町民に報告するとともに、議会や町政に対する町民の意見・要望等を直接聴取し議会活動に反映させるため、例年、柴田町議会では一般懇談会、団体懇談会、柴田高校との懇談会等を開催してきました。しかし、一昨年からの猛威を振るう新型コロナウイルスの影響を受け、全世界で行動の制限がされる中、当町議会でも「今、自分たちでやれることを見つけ、実行する」ことを念頭におきながら、令和3年度は各種の懇談会を実施したところです。

なお、これまでとは異なる環境の中でイベント及び会議等を行うにあたり、活動を進めていくために、専門家の知見が反映されたガイドラインや国・県・町からのお知らせ等を参考に、委員皆で対話や協力をしながら、感染予防への十分な配慮と活動の両立に取り組む必要性がありました。

一般懇談会は7月と12月のいずれも土曜日に、タブレット端末を活用してオンライン上で開催しました。試行での開催でしたので、実行委員の知り合いをネット上の仮想会議室に招待して開催しました。7月に開催した際には途中でインターネット回線が途切れ、懇談会が中断するなど各種のアクシデントはありましたが、懇談会終了後には必ず実行委員で振り返りを行い、12月の懇談会では改善策を練って懇談会を開催しました。まだまだ発展途上ではありますが、将来的に一般町民に参加を募って開催するオンライン懇談会のスタートになったと考えます。

団体懇談会は、各常任委員会が活動テーマに基づく団体を選定して開催する方式で実施しました。オンラインで開催したり、団体の人数を制限したり、「3密」(密集、密接、密閉)対策を講じるなど、各委員会でも、自分たちでやれるやり方で、各小学校校長、観光物産協会関係者及び消防団員等の方々と活発な意見交換がなされました。

平成28年度から続いている柴田高校との懇談会については、コロナ禍の状況でも継続的に開催することに重きを置き、少人数ではありましたが、対面形式で開催することができました。3密回避の観点から実行委員と高校の生徒会役員と人数を制限しての開催とはなりましたが、7月と今年1月の2回に分け、新旧の生徒会役員と対面形式で実施することにより、若い世代が考えている現状と課題について、高校生の本音を聴くことができました。

また、7月1日には議会議員研修会をオンライン上で開催しました。町議会アドバイザーの佐藤淳 氏を講師に迎え「町議会基本条例の検証結果の講評と課題」について、講演をいただき、あわせてワークショップを行いました。

これらの懇談会の開催要領や会議録及び懇談会活動記録等について、次のとおり報告します。

令和4年3月31日

議長 高橋 たい子 殿

議会懇談会実行委員会

委員長	平間 幸弘
副委員長	加藤 滋
委員	石森 靖明
委員	伊東 潤
委員	吉田 清
委員	小田部峰之
委員	平間奈緒美

目次

1	議会オンライン懇談会【試行】 -----	1
	(1)開催要領	
	(2)記録写真	
	(3)会議録	
2	団体懇談会 -----	6
	(1)総務常任委員会 報告書	
	(2)文教厚生常任委員会 報告書	
	(3)産業建設常任委員会 報告書	
3	柴田高校との懇談会 -----	16
	(1)開催要領	
	(2)記録写真	
	(3)各種資料	
4	令和4年度議会懇談会実行委員会への申し送り事項 -----	24

1 議会オンライン懇談会【試行】について

コロナ禍で活動が制限されているからこそ、「できることがあるはず」ということで、昨年度から導入している、タブレット端末を活用してのオンライン懇談会を実施しました。

失敗しても次回に繋がることも想定して、令和3年度は2回実施しました。

今年度は初めての試み(試行)であったことから、実行委員の友人等に声掛けをして、限られた参加者のみでの開催でしたが、将来的には公募形式で参加者を募って実施ができればよいと考えます。

(1) 開催要領

令和3年度 柴田町議会議員懇談会開催要領【試行】

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 目 的 | ・町民の多様な意見を的確に把握し、町政運営に適切に反映させる。
・オンライン形式での会議を議員自身で実際に運営することにより、アフターコロナの会議形式の1つであることを認識する。 |
| 2 日 時 | 令和3年7月31日(土)午前10時30分～午前11時30分 |
| 3 場 所 | 柴田町保健センター4階 議会事務局ミーティングルーム
(ZOOMを利用したオンラインで実施) |
| 4 懇談方法 | ・参加する議員がそれぞれ、1名ずつ町民に声がけをして、オンラインで実施する懇談会に参加してもらうこととする。
・懇談会当日までに、オンライン会議にアクセス可能なアドレス等を連絡する。 |
| 5 主 催 | 柴田町議会 |
| 6 参集範囲 | 町議会議員 7人(令和3年度議会懇談会実行委員)、町民7人
なお、委員長は会場に参集し、ホスト役として、懇談会を運営する。
(議会事務局職員) |
| 7 タイムスケジュール案(10:30～の場合) | |

10:00～	集合
10:05～	会場セッティング
10:20～	オンラインルーム開場(画像・音声確認)
10:30～	開会
	➤ (議長開会あいさつ)
	➤ (各自の自己紹介)
	➤ (参加議員としりあつたきっかけ。 ○○議員こう見えて…等々)
	➤ (最近、周りで困っていること、10年後の柴田町)
	➤ (今春の町議選、無投票だったが…)
	➤ (委員長閉会あいさつ)
11:30～	閉会

※タイムスケジュール(懇談会内容)については、今後委員長等と調整を図り決定する。

- | | |
|---------|--|
| 8 そ の 他 | ・議員7人でのリハーサルを7月21日(水)19時より実施する。
・オンライン会議を開催してそのままとするのではなく、後日、改善及び改良点を話しあう場を設け、今後のオンライン会議等の開催に繋げる。 |
|---------|--|

令和3年度 柴田町議会第2回議員オンライン懇談会【試行】 開催要領

- 1 目的
- ・町民の多様な意見を的確に把握し、町政運営に適切に反映させる。
 - ・オンライン形式での会議を議員自身で実際に運営することにより、アフターコロナの会議形式の1つであることを認識する。
 - ・今夏、開催したオンライン懇談会【試行】を実施した際に生じた反省点の検証。
- 2 日時
- 令和3年12月18日(土)午前10時30分～午前11時30分
- 3 場所
- 柴田町議会事務局内ほか
(ホスト役及び事務局職員は事務局で参加し、他の参加者はZOOMを利用してオンライン上で参加)
- 4 懇談方法
- ・参加する議員がそれぞれ、1名ずつ町民に声がけをして、オンラインで実施する懇談会に参加してもらうこととする。
 - ・懇談会当日までに、オンライン会議にアクセス可能なアドレス(予備含む)を連絡する。
- 5 主催
- 柴田町議会
- 6 参集範囲
- 町議会議員 7人(令和3年度議会懇談会実行委員)、町民7人
なお、ホスト役は当日、事務局会場に参集し、懇談会を指揮運営する。
- 7 タイムスケジュール案(10:30～の場合)

10:00～	集合
10:05～	会場セッティング
10:20～	オンラインルーム開場(画像・音声確認)
10:30～	開会
	➢ (議長開会あいさつ)
	➢ (各自の自己紹介)
	➢ (参加議員としりあったきっかけ。 ○○議員こう見えて…等々)
	➢ (最近、周りで困っていること、10年後の柴田町)
	➢ (今春の町議選、無投票だったが…)
	➢ (委員長閉会あいさつ)
11:30～	閉会

※タイムスケジュール(懇談会内容)については、今後委員長等と調整を図り決定する。

- 8 その他
- ・議員7人でのリハーサルを12月14日(火)19時より実施する。
 - ・オンライン会議を開催してそのままとするのではなく、後日、改善及び改良点を話しあう場を設け、次回のオンライン会議等の開催に繋げる。
 - ・前回の反省を生かし、ZOOM会議室を2部屋生成し、予備部屋を設ける。
 - ・役割:ホスト石森靖明委員、サブ平間奈緒美委員。

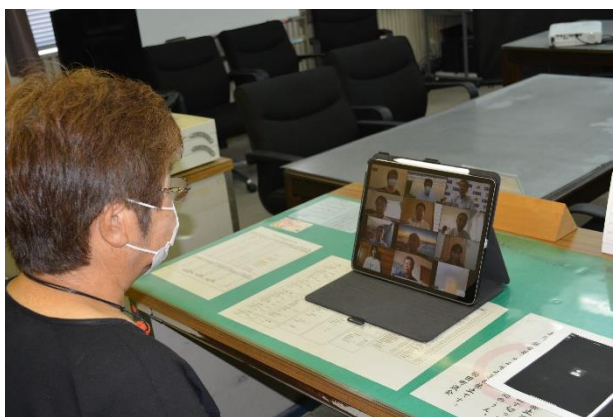
(2) 記録写真



7月31日オンライン懇談会（試行）
司会者 平間幸弘委員長



12月18日第2回オンライン懇談会（試行）
司会者 石森靖明委員



7月31日オンライン懇談会（試行）
開会にあたって、高橋たい子議長あいさつ



12月18日第2回オンライン懇談会（試行）
参加状況



7月31日オンライン懇談会（試行）
参加状況



12月18日第2回オンライン懇談会（試行）
石森委員（司会者）運営管理状況

(3) 会議録

柴田町議会第2回オンライン懇談会(試行)実施報告書

令和3年12月21日

議会懇談会実行委員会委員長 殿

下記のとおり実施しましたので報告します。

実行委員長 平間 幸弘

開催日時	令和3年12月18日(土) 10:30~11:40	開催場所	オンライン(ZOOM)
参加議員	8名(議長・実行委員7名)	参加者数	7名 (委員から紹介のあった町民)
実施内容 (テーマ)	特定のテーマは設けず、オンラインホストを務めた石森委員の進行のもと 質問形式で実施。		
主な内容 (質疑・意見)	<p>1. 普段困っていることについて</p> <ul style="list-style-type: none">・これからは高齢者が中心になっていくのが必然。そのようなことも考えたまちづくりを(例えば、交通弱者が利用する、デマンドタクシーは町内でしか運行されていない。病院等一部でよいので 町外への運行も必要では。)・町の中心部だけが整備されてきており、郊外の整備が行き届いていない。街灯(防犯灯)の整備など・町で発信している情報が、住民まで届いていないことがある。いわゆる尻切れトンボ状態。議員だけでなく、各行政区長のもきちんと住民(区民)に知らせるべきだし、教育も必要。・町長は「花のまち」というが、どこが「花のまち」がわからない(住民もいる)。・高齢者に優しいまちづくりを進めて欲しい。 <p>2. 春の町議会選挙について無投票での改選となった。どう思う?</p> <ul style="list-style-type: none">・結果だから仕方がない。・もう少し報酬を増やしてもいいと思う。・議員のなりて不足。議員という職業をもっと魅力的、身近に感じてもらうようにしては。 <p>3. 町や議会への要望</p> <ul style="list-style-type: none">・子育て世代としては、町内での不審者情報が気になる。防犯カメラ等の設置		

を地下道だけでもいいので願います。

- ・昨年度も発生したが、川での水難事故が起きている。何らかの目に見える改善策をとって欲しい。

4. 10年後の柴田町、どうあって欲しい？

- ・にぎわいのあるまちにして欲しい。
- ・自分たちで柴田町をもっとPRしていきたい。
- ・若者でもイベントを発起しやすいシステムづくりが大切では。
- ・町の基本構想や長期総合計画に沿って行動すれば町はよくなる。
- ・高校・大学・JRも走っており、子育てには適した町だと思う。もっとアピールすべき。
- ・子供たちが将来、戻ってきたい、帰ってきたいまちづくりをして欲しい。
- ・誰でも気軽にフランクに政治参加できるまちづくり。若い人が参画できるまちづくり。・多くを望まないまちづくり。予算が正しく使われているか議員にはきちんとチェックして欲しい。

※なお、第1回の会議録については、終始フリートーク形式での実施のため、特段の会議録は作成せず。

2 団体懇談会について

年間活動計画の活動テーマに基づく団体を選定して実施することとしていましたが、コロナ禍を考慮し、オンラインで開催したり(文教厚生常任委員会)、団体の人数を制限したり、3密対策を講じるなど、委員会ごとに例年とは異なる懇談方法で実施しました。

今回の各団体懇談会で得た意見及び情報等は来年度に各委員会で取りまとめる活動報告書を作成するうえで大変貴重な機会となりました。

委員会ごとの懇談会報告書は以下のとおりです。

(1) 総務常任委員会

団体懇談会実施報告書

令和3年12月6日

議会懇談会実行委員会委員長 殿

下記のとおり実施しましたので報告します。

総務常任委員会委員長 平間 幸弘

開催日時	令和3年10月8日(金) 18時50分～20時20分	開催場所	柴田町役場 特別会議室
懇談団体	柴田町消防団 柴田町交通指導隊 柴田町防犯実動隊	参加者数	8人 (消防団4名、指導隊2名、 実動隊2名)
参加議員	5名 平間幸弘、大坂三男、石森靖明、白内恵美子、平間奈緒美		
実施内容 (テーマ)	消防団員、交通指導隊及び防犯実動隊員の確保策		
主な内容 (質疑・意見)	<p>委員長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろ抱えている問題や悩みを話していただき、議会として何ができるかを考えていく場。思っていることを遠慮なく話していただきたい。 <p>普段の活動状況</p> <p>分団長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨具等をそろえていただいた。コロナ禍の影響もあり、来月の秋季訓練の可否、やれたとしても、どのような方法がよいのかを考えているところ。 ・団員不足は慢性的な状態。(団員募集してもほとんど集まらない) ・現在は派遣社員など様々な職種があるので、訓練や演習のある土曜日曜も勤務もあって、当日の団員集めも苦労している。 <p>指導隊より</p>		

・毎朝、東部と西部に分かれて集合して、各小学校の危険な箇所の通学路に立って、交通指導をしている。昔は夏まつりや行政区の各行事にも出動要請があったが、隊員不足もあり、出動要請もなくなった。隊員不足は慢性的で定年で一度退職しても、再任用制度を利用して活動している状況

実動隊より

・青色パトロール車に乗って、女性隊員は薄暮パトロール、男性隊員は夜間パトロールが主の活動。また、振り込め詐欺対策の一環として警察機関と協力して金融機関の ATM コーナーなどで注意喚起を行いながら、防犯グッズを配布などしているところ。そのほかには、桜まつりなどでパトロールをしているが、ここ数年はまつり自体が中止なのでしていない。

現在、男性9名、女性6名の計15名で活動している。3年前からの再任用制度ができたことにより、指導隊と同じで隊を維持している状態。

・隊員募集については、まちづくり政策課にお願いして、定期的に広報誌に掲載してもらっているが、なかなか集まらない。実際はファミリー（隊員の息子や娘婿）に入隊してもらい細々と活動しており、先細り感は否めない。

議員各位にも、普段から知り合いや支援者に声掛けしていただきたい

委員長より 団員募集の苦労点について

分団長

・2市7町では人口比率でいくと、ワーストの団員数。(丸森や角田市及び白石市の団員数は多い)

消防団

・昔は祖父から父、息子と親子三代で消防団というふうに入団していたが、若い人は町外に出てしまったり、一緒に住んでいても入団しない人もいる。(強制することはできない)

・昔は農家の長男は必ず入団するものだったが…。

白内委員より 活動しているのやりがいや楽しかったこと

指導隊

・毎日の交通指導時に、子供たちから挨拶をしてもらえるとうれしいし、感謝の言葉と言われるとやっているとよかったと感じる。

・最近挨拶をしない子供が増えた。昔は、皆が挨拶してくれたものなのに…。

・指導隊のネックは平日の毎朝の業務が主なので、隊員の募集をしても、そのことを話すと断られる。自営業の人でないとなかなか厳しいと思われる。

・最近、防寒具や冬用のズボンを支給していただいた。大変感謝している。

実動隊

・薄暮パトロールをしていると子供たちから声をかけてもらえる。それだけなのに、うれしいし、やりがいを感じている。

消防団

・災害時に活動するのでうれしいと思ったことはないが、東日本大震災時の給水活動に

従事したときに地区の人から感謝されたことは今でも忘れられない。

石森議員より 必要とする装備品等は

分団長

- ・松ヶ越地区はゴムボートが必要である。あとは、浸水している箇所には車が侵入しないようにするバリケードも必要。
 - ・ジェットシューターは便利だが、現在の山の管理状況も考えると（管理されていない山が多く堆積物があまりにも多い）…。
- ※分団や班によって必要とする備品には違いがある。

実動隊

- ・今のところはない。青色パト車も近いうちに新しくなると聴いているところ。

指導隊

- ・銀色のベスト 防寒靴

委員長より 町に対しての要望は

分団長

- ・コロナ禍で、我々の訓練や練習等も制限されている状況。何らかの策をとるよう議会としては言えないのか？ ⇒ **委員長より** ・議会としては、一律に何らかするとは言えない状況であり、個別の団体や内容で判断するしかないと思われる。町の担当者も注視しているので、ご理解いただきたい。
- ・町への要望は、コロナ禍で何ら活動をしていないので、要望を出せる状況ではない。

指導隊

- ・過去に比べれば、必要な装備品も早い段階で支給してもらうことができるようになった。感謝している。
- ・人材の確保、できれば若い人を要望。
- ・日額報酬のアップも必要。

実動隊

- ・首都圏の大学（桜美林大学??）で実施している、簡易なジャンパーを学生に配布して防犯活動をしている話を聴いた。仙台大学の学生に協力をいただいてそのような活動はできないか？ 最初のきっかけはアルバイト感覚でもよいと思われる。

分団長

- ・団員募集にあっては、県や町独自のパンフレットやポスターがあってもよいのではないか。勧誘資料があれば、区の総会時等にも紹介や勧誘活動にもつながる。

委員長より 最後に感想

いずれの団体とも

- ・普段遠い存在に感ずる議員とも気軽に話ができてよかった。
- ・今後も、このような話せる場を継続して設けて欲しい。

18：50～20：20

後日、委員会で出た意見等々（10月11日13:00~14:45）

現状

- ・いずれの団体も団員隊員不足に悩んでいる。
- ・指導隊及び実動隊については高齢化が進み、数年前にできた再任用制度を活用して隊を維持している状況。

解消策で出た主な案や今後の検討事項

三団体共通

- ・柴田町独自で、活動風景等を入れ込んだパンフレットを作成したうえで、それを利用して、地区総会等で紹介や勧誘活動を地道に行っていく。

指導隊

- ・仙台大学の学生に声掛けをして、隊員になっていただく。（アルバイト感覚でもよい。4年間限定にはなると思うが、個人を隊員として任命するのではなく、小規模のグループを団体で登録して仲間内で日々の朝立ちを行ってもらうことも可能ではないか。→先輩から後輩へ引き継いでいくことも考えられる。）

実動隊

- ・中学校や高校での保護者会で活動内容を紹介しての勧誘をしてはどうか（女性隊員については薄暮時パトロールが主で、中高生の母親層は子育てもひと段落していると考えられるため）

消防団

- ・町に限らず、全国的な消防団の問題として、儀礼的で祝日を割かれることが多い各種訓練等が、若い世代には入団に際しての大きなネックになっているのではないかと→しかし、入団が増えている自治体もあることから、今後の委員会活動の1つとして近隣の状況を確認する必要あり（入団数の多い角田市や丸森町・都会で名取市や富谷市）。
- ・班によっては、毎年の入団を求めていくのではなく、数年に一度に仲間同士の複数人で入団してもらう形態があってもいいのではないかと（一人で入団するより、仲間と入団したほうが心強い面もあるため）
- ・特定地域（班）に属さない、ある意味自由な班を立ち上げてよいのではないかと。班の詰所等は持たずに、役場の総務が窓口となる（女性班のイメージ??）
- ・匿名で若手団員から、現状の消防団の在り方を問うてもよい時期に来ている（現状を把握する意味でも）
- ・入団一時金や、団員の紹介料等の柔軟な予算の使い方も検討すればよいのではないかと。

装備品の要望について。

消防団のある分団では、水害時にゴムボートが欲しいなどの意見が出たが、その分団や班によって、必要としている備品や装備品には違いがあることも事実である。

このことから各団体の幹部会や班長会議で出される要望の意見を真摯に聴いたうえで、一律支給の装備品ではなく、柔軟な対応をお願いしていくこととする。

(2) 文教厚生常任委員会

団体懇談会実施報告書

令和3年12月6日

議会懇談会実行委員会委員長 殿

下記のとおり実施しましたので報告します。

文教厚生常任委員会委員長 桜場 政行

開催日時	令和3年10月27日(水) 13:55~15:00	開催場所	オンライン (Google ミート)
懇談団体	柴田町校長会 (小学校のみ) ※オブザーバーとして教育長	参加者数	7名
参加議員	6名		
実施内容 (テーマ)	各小学校通学路の安全確保の取り組みと課題について		
主な内容 (質疑・意見)	<p>1. 通学路で不安に感じている場所を3つ教えてください(加藤 滋委員)</p> <p>(船小) ①昔からの抜け道でスピードを出す車が多く危険な道路 ・フレスコキクチから船中前、いっぷく亭、ミニストップに至るまでの道 ・船迫踏切、柴田大橋から土手内地内を通りリコーまでの道 ②横断歩道に歩行者がいても停止しない危険場所として、いっぷく亭前 ③通行児童が多いが、歩道がない又は歩道が狭い箇所 ・船中の東側道路 ・ファミリーマート船岡東4丁目店の後ろの道 ・仙台大学前</p> <p>(槻小) ①正門出口交差点 2つの横断歩道 ⇒両方向からの車の往来が激しく、県営住宅裏の道からは時間帯通行違反の車両がいる。 ②町道四日市場25号線400m 環境の改善を ⇒車両の往来が激しく、道路が陥没し水溜りがひどい、誘導標の欠損 ③千間堀踏切付近から槻木東1丁目への道 路側帯標示を ⇒路側帯がなく、児童が田んぼに落ちないか心配 ④全体として道が細く歩道がない道が多いため車両との接触事故を懸念</p> <p>(柴小) 3年生以上の希望者が自転車通学。登下校に不安。 ①海老自工から学校に向かう橋付近 グリーンベルトの設置を ⇒道幅が狭く歩道がない。段差による見通しも悪い。 ②ゆずが丘団地の横断歩道 ⇒交通量は少ないがカーブからの直線道路で飛ばしてくる車が多い ③ゆずが丘付近の堀、道幅が狭く柵もない</p>		

- ④関根橋付近のカーブ内側 住宅からの木々
- (迫小) ①団地内は坂が多く、曲がり角も多い。車からの死角が多い。
 ・鹿野緑地前のカーブの道路
 ・船迫生涯学習センター前交差点
- ②スピードを出す車両が多い 北船岡町営住宅とイオン前の道路
- ③麵次郎前の交差点、手前カーブあり
- ④船迫小～柴田高校への交差点
 ⇒近々、信号機設置予定で改善。通学路の変更も可能に。
- (西住小) 下校時間に不安。ドライバーの意識の問題が大きい。
 スクールゾーンが分かる道路への標示を
- ①昭和電線前交差点 一時停止無視
- ②校門出での道路のカーブ
 ・通り抜け車両がスピードを出してくる
- ③昭和電線社宅西側道路のわだちによる水溜りがひどい
- (東船小) ①ビッグの出入り口付近
- ②阿武急高架橋の東側の複数の交差点
 ・朝の車両通行が多くスピードも出ている
- ③阿武急高架橋の西側 東船岡駅からの道路とのT字路交差点
 ・中高生の自転車横断

再質疑

これまでに改善できた事例は(加藤 滋委員)

- (船小) ①船中東側道路。道路脇の土を撤去し白線を引いてもらった。
 ②旧菊池スタンド前側溝の蓋のゆれ改善
 ③船岡東2丁目の船岡用水路の蓋のガタつき改善
- (槻小) ①四日市場、大久板金前のカーブミラー、ライトの設置
 ②祇園田信号機、歩車分離式となり歩行者用の時間が改善
- (柴小) ①海老自工前の歩道の隆起が改善 (以前、自転車転倒事故があった)
- (迫小) ①本船迫交差点の信号設置が決まった
 ⇒交差点から先(学校側)に歩道がない道路が続くため要相談
- (西住小) ①学校前の横断歩道にカーブミラーの設置
 ②学校前の横断歩道に貼り付けのストップマークを更新
- ③昨年の地震でできた道路の陥没が改善
 ④融雪剤の設置
 ⑤昭和電線前の道路のわだち改善
- (東船小) ①複数個所に歩行者向け路面にストップマークシール設置
 ②阿武急高架橋東側に止まれの看板設置
 ③阿武急高架橋西側T字路に止まれの看板設置

2. スクールソーシャルワーカーは 1 人から 3 人に増えているが、現状で間に合っているのか(伊東 潤委員)

(船小) 引きつづきの支援をお願いしたい。充足している。

(槻小) 3名いることで充実している。スクールカウンセラーの方を充実させてもらいたい。

(柴小) 小規模特認制度で利用が増えてきた。3人いてもらえるのでありがたい。

(迫小) 充足している。引き続きの支援を。

(西住小) 充足している。

(東船小) 教育に手厚いと感じている。活用事例が発生していない。家庭に起因する悩みを持った児童が増えて来れば有効活用したい。

3. 危険個所が分からない保護者が多いようだ。神奈川県川崎市では、安全ガイドブックを配布している。危険個所の情報に対する取り組みを教えてほしい(吉田和夫委員)

(船小) P T A本部役員会等で各地区の状況を確認。各校共通で警察・教育委員会・学校が合同で安全点検を行っている。

(槻小) 夏休み前、P T Aで作成した安全点検マップ(水の事故・交通事故用)をP T A支部に配布し点検を実施。児童目線での新たな危険個所を学校に報告。意見の集約を実施。コロナ禍により支部の活動が縮小している。

(柴小) 自転車事故があった際には、安全点検の結果をマップにして保護者へ配布した。役員会等の集まりの場で啓発を行っている。

(迫小) 学区内の通学路安全マップを保護者に配布。普段から歩道のない道路の注意喚起や気づいた点を報告してもらっている。

(西住小) ①警察・教育委員会・学校が合同で安全点検を行っている。

②子どもによる安全マップ作りと、P T Aで実施の安全点検を合わせて、西住小学校安全マップを作製し全家庭へ配布。

(東船小) P T Aとの連携で学区内危険マップを2年前に作製(水害・交通事故)、P T Aで見直しを行っている。

(3) 産業建設常任委員会

団体懇談会実施報告書

令和3年10月15日

議会懇談会実行委員会委員長 殿

下記のとおり実施しましたので報告します。

産業建設常任委員会委員長 秋本好則

開催日時	令和3年10月8日(金) 午前10時～午前11時45分	開催場所	柴田町太陽の村 第2研修室
懇談団体	一般社団法人 柴田町観光物産協会	参加者数	協会3人、町職員2人 議会7人(議員6人、職員1人) 合計12人
参加議員	秋本好則、安藤義憲、吉田 清、森 裕樹、佐久間光洋、広沢 真		
実施内容 (テーマ)	柴田町観光物産協会の現状について		
主な内容 (質疑・意見)	<p>○質疑応答</p> <p>Qマウンテンバイクコースを広くできないのか？ A現在370メートルを100メートル延ばす計画はある。安全確保をしながら。散策コースなども検討中。村田町に隣接するコースは現在ある。</p> <p>Q地図(頂いた資料)はどこまで利用できるのか？ A山なのでエリアがあっても使えない。イノシシ被害で使えない場所もある。</p> <p>Q西船迫4丁目から成田に行く道路頂上付近、見通しが悪い。危ないのでゆったりした道路にできないのか？ A町のほうには要望している。建物も老朽化しているのでお願いしたい。</p> <p>Q全国的にマップ作成。この辺だと蔵王・どこに売店、自転車など分かるようになっていく。多賀城の例・ウオークラリーふう、クイズ形式で町を回る取り組みがあるが、柴田町ではできないのか？ A宮城サイクル仙南会2市7町で取り組みは始めている。協会独自では難しい。</p> <p>○大河原町で2市7町ホームページに掲載。太陽の村へ仙台市から自転車でくる。 ○私の友人も自転車で遠くへ行く。</p> <p>Q里山ハイキングコース羽山コースから沼部に抜けるコースは、どういったことになっているのか？ 戦前の遺跡があるお地藏さんなどを見ながら行くなど充実できないか？(葦神山～羽山) A10/23日から歩けるようになっている。</p> <p>Qそのコースマウンテンバイクで走れないのか？ A下の部分は走れるが。</p> <p>Q重大事故につながるのでは。また、ユーチューブなどでキャンプしている人多く見る。煮炊きするので、山火事が心配では。</p>		

Aデイ・キャンプをしている人を見かけると下に板など敷いてバーベキューなどをしたり焚き火台などしている。いま、検証実験している。参加者に色々な意見を聞いている。フワフワドーム脇などで。

Q気軽にデイキャンプ場で煮炊きができる場所があれば需要があるのでは？

Qデイキャンプとは日帰りですか？ 煮炊きなどして、泊りのイメージがあったので。

Aその日に煮炊きなどして楽しんで帰る。

Q下の駐車場を活用して、キャンピングカーなどの誘致ができないか？ 軽自動車や軽ワゴンを改造して旅をしている人が増えているので、場所の提供をして柴田町を認知ができるのでは？ 駐車場の使い方は、どのように考えているのか？

A例年バイクの集いなどでフリーマーケットをしている。制限をつけるが、許可は出している。キャンピングカーの許可までは実現していない。防犯上の観点からも道の駅と違い管理の難しさから自己責任でやってもらうしかない。

Qイベントをやっているとのことだが、料金はもらっているのか？

A許可はするが、料金はもらっていない。以前は弁当を取っていただいた。

A駐車場に長期に住んでいた方がいたので、警察に届け出た。洗濯物を干していた方もいた。

Qオートキャンプ場では利用料金をもらっている所もある。駐車場のスペースで軽トラックの産直などができないか？

A少し頭の中で整理してみたい。

Qこれからは有料にしないと長持ちできないのでは？ 有料に検討していただきたい。また、物産交流館の売上げが半分に下がっているが、どういう訳でどう分析しているのか？

A24年に会員を作り増やしていき、売上げもあったが、27年、28年、29年は、悪天候にみまわれ不順が続いたことや、40名近くいた生産者が高齢になり現在は20名近くに減ったこともある。イノシシやハクビシンの被害もある。また、ショッピングセンター等では、生産者の方が出荷しており、客の回転が速いので充実していることもある。物産交流館にはファンがおり、9時になると買いに来て品物が大体なくなる。村田の道の駅とは違い、物産交流館も品物がなくなったら足せばいいと言われても、日中のお客様はあまり来ない。

Q何を売り物にするのか？ 新鮮さにするのか？ 野菜が6割売れているが。

A生産者もファンクラブも高齢者。今後も生産者や役員の方とも、売上げなどについて検討したい。担い手不足なども。

Q資料の4ページ～5ページの収益について聞きたい。

A完全に委託販売で、生産者からは15%、商店からは20%、委託料金もらう。平均17%。

Qほとんど収益が出てないのでは？

Aそのとおり。

Qもう少し収入があげられそうだが？

Aさくら祭りが一番の収入源ではある。ビックイベントないと厳しい。

Q売店は年間通して開いていたのか？

A 7月1日～7月12日までは、臨時休業。毎週月曜日休み。

Q食品衛生法などが改正されたが、漬物など出す人等についてはどうなのか？

A県からの通知を各生産者にしている。また、講習会などを開く予定である。

Q紫陽花まつりに多くの人 coming しているにも関わらず、時間で売店を閉めているが、延長はできないのか？

A人員が足りない。

Q人員がいれば延長するのか？

Aイベントによる。

○観光物産協会からの要望

- ・太陽の村に登って来るまで安心して来ていただくためにも、入り口の門から上の道路の拡幅をしていただきたい。
- ・勾配もあるので、大型バスも入って来られるようにしてほしい。
- ・施設の老朽化しているので、改修工事が必要（スロープカー等も）

まとめ【令和3年10月8日（金）、午後1時から午後2時20分、庁舎4階で】

町に対し要望する事項

- ・太陽の村の入口の門から上の箇所については、道路の幅員も狭く勾配がきつい。歩行者が安心して太陽の村に歩いて来ることができるよう、また、大型バスも安全に登ってくるができるよう、当該箇所について道路の拡幅をしていただきたい。
- ・太陽の村の建物だけでなく、船岡城址公園のスロープカーも含め、老朽化が目立つ。利用者の安全や、利用しやすさという観点から、改修を行っていただきたい。

今後の委員会で調査していくことや一般質問で取り上げること

太陽の村キッズバイクパークについて

- ・マウンテンバイクコースは、6mの高低差を生かして作られている。他の自治体でのサイクリング施設との差別化を図ることが必要である。コースの延長も考えられるが、歩行者の安全の問題、施設の管理上の問題などを考えると、観光物産協会が指定管理を受けて行うには限度がある。このことから、指定管理の在り方を考えていく必要がある。

地場産品について

- ・売店で販売する地場産品について、生産者の高齢化、購入者の特定化などの理由から、売上を伸ばすには工夫が必要である。また、観光物産協会としての収益を伸ばすことも必要である。このことから、地場産品の在り方を考えていく必要がある。

3 柴田高校との懇談会について

新型コロナウイルス感染対策に基づき各種イベントや催事が中止される中、高校生との懇談会については、平成28年度から続いている「継続性」に重点を置き、令和2年度においてもオンライン形式で実施した経緯があります。今年度は顔を突き合わせた対面形式に戻して実施したいと考え、感染症対策を踏まえた上で、議会懇談会実行委員会7人と柴田高校生徒会役員との限られたメンバー同士とはなりましたが、対面形式に戻し、7月と年が明けた1月に2回の懇談会を実施しました。

議員同士の同じ立場であれば、オンラインも有効と考えますが、立場が違う人間であり、かつ互いに初対面同士であるならば、対面形式での懇談が有効であることを実感しました。

(1) 開催要領

令和3年度柴田高校生徒会との議会懇談会 開催要領(第1回・対面形式)

(1)開催日時及び会場

開催日時	団体名	開催会場
令和3年7月6日(火) 16:00~17:15	柴田高校生徒会	柴田高校(対面形式)

(2)懇談会の目的・ねらい

(高校生側のねらい)

- ①普段接する機会がない議員と同じ立場で意見交換をすることで、議会を身近に感じ、議会・政治への興味関心を持ってもらう。
- ②町議会だよりなどを活用して、柴田高校をPRするための情報発信をする。

(議会側のねらい)

- ①次世代を担っていく現役の高校生から普段感じていることを実際の生の声を聞くことで、今後の地域課題を明らかにする。
- ②若い世代に、議会・町政への興味関心を持ってもらう。

(3)懇談会の内容

密となることを避け、生徒側及び実行委員会側を3グループに分け、それぞれのグループごとに、昨年度に実施した、現生徒会とのテーマ「コロナ禍での学校生活、部活動はどうだった？」から継続する意味合いで、「まもなく卒業。With コロナの高校生活(部活動)はどうだった？」として、高校生活での学校行事・部活動の思い出等を話してもらいながら、現在の「困っていること」「気になっていること」「こうなったらいいなと思うこと」などをざっくばらんに話してもらう。

(現生徒会のメンバーは2度目であるが、議会側は実行委員が初めてなので自己紹介的なことを最初に行う)

(4)役割分担等

- 1)司会者は実行委員から選任する。

役割	担当者名	
代表者	懇談会実行委員長	平間 幸弘
ファシリテータ 兼 司会者	平間 奈緒美	
記録・庶務	事務局(太田)	

- 2)懇談は、対面形式とする。

令和3年度柴田高校生徒会との議会懇談会 開催要領(第2回・対面形式)

(1)開催日時及び会場

開催日時	団体名	開催会場
令和4年1月21日(金) 16:00~17:30	柴田高校生徒会	柴田高校(対面形式)

(2)懇談会の目的・ねらい

(高校生側のねらい)

- ①普段接する機会がない議員と同じ立場で意見交換をすることで、議会を身近に感じ、議会・政治への興味関心を持ってもらう。
- ②町議会だよりなどを活用して、柴田高校をPRするための情報発信をする。

(議会側のねらい)

- ①次世代を担っていく現役の高校生から普段感じていることを実際の生の声を聞くことで、今後の地域課題を明らかにする。
- ②若い世代に、議会・町政への興味関心を持ってもらう。

(3)懇談会の内容

密となることを避け、生徒側及び実行委員側を3グループに分け、それぞれのグループごとに、「コロナ禍での高校生活。期待(想像)していた高校生活とは違っている・・・?」として、入学以来、コロナ感染症対策で行動制限される中、どのような期待や希望をもって入学し、現実的にはどのような学校生活を過ごしているのかを話してもらいながら、現在の「困っていること」「気になっていること」「こうなったらいいなと思うこと」などをざっくばらんに話してもらう。

(議会側は実行委員が2度目ではあるが、現生徒会とは初めての対面となるので最初に自己紹介的なことを行う)

(4)役割分担等

- 1)司会者は実行委員から選任する。

役割	担当者名
代表者 懇談会実行委員長	平間 幸弘 議員
ファシリテータ 兼 司会者	小田部 峰之 議員
記録・庶務	事務局(太田)

- 2)懇談は、対面形式とする。

(2) 記録写真



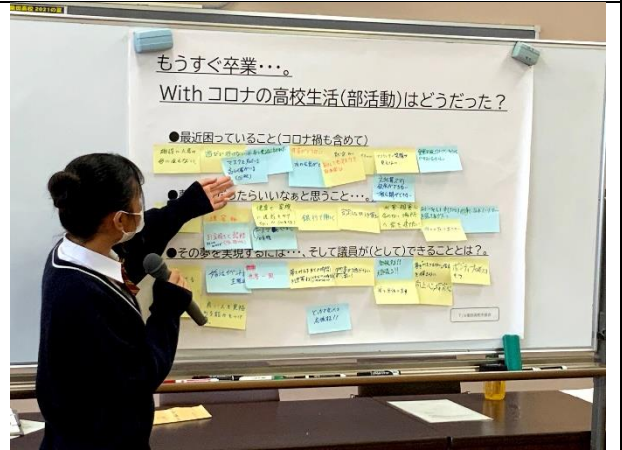
7月6日柴田高校との懇談会
ファシリテーター 平間奈緒美 委員



7月6日柴田高校との懇談会
グループワークの様子 ③



7月6日柴田高校との懇談会
グループワークの様子 ①



7月6日柴田高校との懇談会
グループワークの後の発表風景



7月6日柴田高校との懇談会
グループワークの様子 ②



7月6日柴田高校との懇談会
懇談会終了後の集合写真



1月21日 柴田高校との懇談会
開会のあいさつ 高橋たい子 議長



1月21日 柴田高校との懇談会
グループワークの後の発表風景



1月21日 柴田高校との懇談会
グループワークの様子①



1月21日 柴田高校との懇談会
閉会の挨拶 平間 幸弘 委員長



1月21日 柴田高校との懇談会
グループワークの様子②



1月21日 柴田高校との懇談会
懇談会終了後の集合写真

(3) 各種資料
第1回 開催分
(懇談テーマ)

もうすぐ卒業…。

With コロナの高校生活(部活動)はどうだった？

●最近困っていること(コロナ禍も含めて)

●夢(こうだったらいいなあと思うこと…。)

●その夢を実現するには…、そして議員が(として)できることとは？。

7/6 栗田高校生徒会

(アイスブレイク内容)

名前
学生(時代)のあだ名

GOOD&NEW
24時間以内に起こった楽しかった
ことうれしかったこと、新たに発見し
たこと

今はコロナで行けないけど、コロナ
が落ち着いたら行ってみたい場所

実はこう見えて、
「私、〇〇なんです。」

(高校生から出た様々な意見 (一部を抜粋して掲載))

1、最近困っていること

- ・マスクをとっている高齢者がいる(心配)
- ・暑くてもマスクが取れない
- ・マスクの笑顔が見えない、集中力が欠ける
- ・”試合で人数制限をかけられ、保護者の方にもてもらえない”
- ・集団で声を出して応援することができない
- ・競技場が使いにくい(制限がたくさん)
- ・文化祭の一般公開ができない。飲食禁止
- ・居酒屋に行けなくストレスたまる
- ・外食ができない

2、夢 (こうだったらいいなあと思うこと)

- ・お金持ちと結婚(外国の方)アメリカ or カナダ
- ・感謝を使える仕事
- ・好きなことを仕事に(ゲーム関係)
- ・銀行で働く
- ・安定した収入を得たい
- ・水害被害に遭わない場所へ家を建てたい
- ・おじいちゃんに車(クラウン)を買ってあげたい
- ・誰かの役に立ちたい

3、その夢を実現するためには

- ・”夢を叶えるまでの時間を逆算する(どれだけの時間で何が出来るか)”
- ・物事から逃げない(つらい、苦しい)
- ・どっかで会ったら応援する！！
- ・夢を「叶えられない」理由を探さない
- ・安心して生活できる環境づくり
- ・人のぬくもりを感じる社会
- ・コロナ不況への対策
- ・就職できる環境づくり
- ・婚活イベントを主催する

コロナ禍での高校生活

期待(想像)していた高校生活とは違っている…?

●入学前に期待(想像)していた高校生活って…?

●実際の高校生活をおくってみての現実…?

●その期待と現実のギャップを埋めるためには…、そして私(達)ができることは…?

1/21 栗田高校生徒会

(アイスブレイク内容)

名前
学生(時代)のあだ名

GOOD&NEW
24時間以内に起こった楽しかった
ことうれしかったこと、新たに発見し
たこと

昨日の
晩御飯

実はこう見えて、
「私、〇〇なんです。」

(高校生から出た様々な意見 (一部を抜粋して掲載))

1、期待していた高校生活 (理想)

- ・修学旅行 (大阪方面) が楽しみ
- ・部活動、新たな友達ができる
- ・化粧・制服がもう少しゆるいかと思っていた
- ・中学校とは異なる学校行事が楽しみだった
- ・部活の顧問の先生が優しいと思っていた
- ・中学時代はコロナ禍で制約が多かったので、自由な学校生活に期待
- ・各種部活動の応援
- ・新たな友達と遊びに行く
- ・電車通学

2、実際の高校生活 (現実)

- ・相変わらずのマスク着用生活で不便
- ・部活動応援したいけど、応援に行けないし、来てもらえない。
- ・部活動の練習で会話ができないので、内容をうまく伝えられない
- ・マスクを付ける人、付けない人がいてお互いに気をつかう
- ・友達となかなか遊べない
- ・テストの回数が多い
- ・コロナ禍で制限がありすぎる。でも慣れてきている…
- ・体育の授業がハイレベル
- ・修学旅行、東京から栃木に変更になった

3、その理想と現実のギャップを埋めるためには

- ・互いに認め合う関係性でありたい
- ・部活動で応援の制限があるが、声出しだけが応援でないので、応援ボード等を活用する
- ・感染対策をしっかりやって、通常の生活に戻れるようにする
- ・校則をかえていきたい、服装のことなど
- ・生徒自身の行動を変える必要がある
- ・アルバイトなどを認めてもらい、地域や大人ともっともっと交流する
- ・部員を増やしたいので、もっと活動内容をPRする
- ・インターネットを活用した新たな学校生活を考える
- ・生徒会役員として学校生活を盛り上げたい
- ・今を一生懸命楽しむ！！

4 令和4年度議会懇談会実行委員会への申し送り事項

○今年度については、「今、自分たちでやることを考え、新たな試み」で実施した各種議会懇談会となった。次年度の実行委員会も、これまでの前例にとらわれることなく、町民との意見交換を積極的に進めていくこと。

○充実した懇談会開催にはファシリテーション(会議などの場で参加者に発言を促したり話の流れをまとめたりする技術)能力が重要であることを実感した。単なる司会進行役ではなく、ファシリテーター育成や役割の理解を目的とした議会議員研修会を検討していただきたい。

○柴田高校との懇談会については平成28年度から継続的に開催している。現在も新型コロナウイルス感染症がまん延しており、次年度も大規模集会や会合は困難であると予想されるが、形式にとらわれることなく開催を継続して欲しい。